



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月6日

上場会社名 KYCOMホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9685 URL <http://www.kyd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 勇 雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 IR担当 (氏名) 吉村 仁 博 TEL 0776-34-3512  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	2,596	8.3	95	40.1	154	115.0	127	166.6
26年3月期第3四半期	2,396	1.3	68	△10.7	71	△20.8	47	16.6

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 207百万円 (255.5%) 26年3月期第3四半期 58百万円 (6.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	25.17	-
26年3月期第3四半期	9.44	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	3,367	1,728	51.3	340.10
26年3月期	3,173	1,532	47.9	299.15

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 1,728百万円 26年3月期 1,520百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
27年3月期	-	0.00	-	-	-
27年3月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月期の期末における配当予想額は現時点で未定であります。

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,600	4.2	180	93.5	180	92.2	110	19.6	21.65

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

##### ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 一社（社名）  
除外 1社（社名）KYCOM(株)  
〔（注）詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）」を参照ください。〕

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
〔（注）詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）」を参照ください。〕

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	5,115,492株	26年3月期	5,115,492株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	34,296株	26年3月期	34,158株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	5,081,280株	26年3月期3Q	5,081,623株

##### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

##### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益・雇用情勢の改善が進む一方、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動、外需の伸び悩みなどから、不透明な状況で推移いたしました。

また、大企業を中心に設備投資意欲が高まりつつあるものの、IT投資に大きな変化は見られず、情報サービス業の成長は横ばいで推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、事業の柱であるソフトウェア開発及び関連業務やコンピュータ関連サービス事業を中心に、グループ間で連携を取りながら提案営業の強化に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は25億96百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益は95百万円（前年同期比40.1%増）、経常利益は当第3四半期連結会計期間において売買目的有価証券の運用益が28百万円増加したこと等により、1億54百万円（前年同期比115.0%増）を、それぞれ計上いたしました。これに、税金費用等を加味した結果、四半期純利益は1億27百万円（前年同期比166.6%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は33億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億93百万円の増加となりました。

流動資産は12億66百万円となり、72百万円増加いたしました。これは主に有価証券が1億22百万円、仕掛品が94百万円増加したこと及び受取手形及び売掛金が1億35百万円減少したことによるものであります。

固定資産は21億円となり、1億21百万円増加いたしました。

有形固定資産は13億2百万円となり、16百万円減少いたしました。これは主に減価償却によるものであります。

無形固定資産は22百万円となり、2百万円減少いたしました。これは主に少数株主持分取得に伴い、のれんが5百万円増加したこと及び減価償却によるものであります。

投資その他の資産は7億75百万円となり、1億40百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が1億48百万円増加したことによるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は16億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円の減少となりました。

流動負債は9億76百万円となり、83百万円増加いたしました。

固定負債は6億63百万円となり、85百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が1億20百万円減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は17億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億95百万円の増加となりました。これは主に四半期純利益1億27百万円の計上及びその他有価証券評価差額金74百万円の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計期間末の47.9%から51.3%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月14日の「平成26年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、連結子会社でありましたKYCOM株式会社について、平成26年4月1日付で当社に吸収合併したことにより、連結の範囲から除外しております。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	430,527	444,648
受取手形及び売掛金	504,986	369,191
有価証券	94,615	217,498
商品	9,864	9,390
仕掛品	43,899	138,494
原材料及び貯蔵品	1,839	1,423
その他	119,470	95,219
貸倒引当金	△11,181	△9,213
流動資産合計	1,194,020	1,266,652
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	427,468	416,156
土地	846,569	846,569
その他（純額）	45,037	39,922
有形固定資産合計	1,319,075	1,302,647
無形固定資産	25,326	22,532
投資その他の資産		
投資有価証券	426,851	575,221
その他	242,466	239,293
貸倒引当金	△34,267	△38,887
投資その他の資産合計	635,051	775,627
固定資産合計	1,979,452	2,100,807
繰延資産	418	261
資産合計	3,173,891	3,367,722

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,720	58,340
短期借入金	160,100	176,800
1年内返済予定の長期借入金	164,080	161,349
未払金	307,689	318,983
未払法人税等	30,001	7,815
賞与引当金	60,204	33,720
その他	117,101	219,407
流動負債合計	892,897	976,416
固定負債		
長期借入金	618,047	497,231
退職給付に係る負債	87,960	86,509
その他	42,538	79,376
固定負債合計	748,545	663,116
負債合計	1,641,443	1,639,533
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,612,507	1,612,507
利益剰余金	△138,783	△10,857
自己株式	△9,025	△9,052
株主資本合計	1,464,697	1,592,597
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,891	126,583
為替換算調整勘定	3,492	8,982
その他の包括利益累計額合計	55,384	135,565
少数株主持分	12,365	24
純資産合計	1,532,448	1,728,188
負債純資産合計	3,173,891	3,367,722

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	2,396,917	2,596,885
売上原価	1,909,412	2,073,178
売上総利益	487,505	523,706
販売費及び一般管理費	419,065	427,835
営業利益	68,440	95,871
営業外収益		
受取利息及び配当金	7,358	11,170
賃貸料収入	13,902	14,192
有価証券運用益	4,422	58,881
その他	7,210	6,207
営業外収益合計	32,893	90,451
営業外費用		
支払利息	11,283	9,701
減価償却費	9,874	9,426
その他	8,466	13,007
営業外費用合計	29,625	32,134
経常利益	71,708	154,188
特別利益		
投資有価証券売却益	27,313	12,720
特別利益合計	27,313	12,720
特別損失		
投資有価証券評価損	752	7,636
投資有価証券売却損	—	6,518
過年度決算訂正関連費用	17,661	—
課徴金	27,000	—
固定資産除却損	63	97
特別損失合計	45,477	14,251
税金等調整前四半期純利益	53,544	152,656
法人税等	9,019	25,573
少数株主損益調整前四半期純利益	44,524	127,083
少数株主損失(△)	△3,461	△842
四半期純利益	47,985	127,926
少数株主損失(△)	△3,461	△842
少数株主損益調整前四半期純利益	44,524	127,083
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,835	74,691
為替換算調整勘定	940	5,489
その他の包括利益合計	13,776	80,181
四半期包括利益	58,300	207,264
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	61,761	208,107
少数株主に係る四半期包括利益	△3,461	△842

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年12月31日）

当社の情報処理事業の売上高及び営業損益の全セグメントに占める割合がいずれも90%超であり概ね単一セグメントとなること、最高経営意思決定機関への報告も単一セグメントとしてなされていること等により開示を省略いたします。

当第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年12月31日）

当社の情報処理事業の売上高及び営業損益の全セグメントに占める割合がいずれも90%超であり概ね単一セグメントとなること、最高経営意思決定機関への報告も単一セグメントとしてなされていること等により開示を省略いたします。

(重要な後発事象)

株式取得による会社等の買収

当社は、平成27年1月21日開催の取締役会において、GISコンサルティング株式会社の全株式を取得し子会社化することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。平成27年1月30日に全株式を取得しております。

## ① 株式取得の目的

当社グループは事業の柱であるソフトウェア開発やコンピュータ関連サービス事業を中心にグループ間で連携を取りながら提案営業の強化に取り組んでまいりました。

一方、GISコンサルティング株式会社は情報処理システムのコンサルティングから構築、保守までの一貫サービスを提供しているソリューションプロバイダーで、これまで安定した業績をあげてきました。

この度、GISコンサルティング株式会社の持つコンサルティング力、高度な事業ノウハウ、ITスキルを活用することによって当社グループ成長のための大きなシナジー効果が期待できると判断し、GISコンサルティング株式会社の子会社化によって、顧客への更なる高度なソリューション提供を実施し、ビジネス拡大を図ってまいります。

## ② 株式取得の相手先の名称

工藤 秀憲氏、赤司 保之氏、GISコンサルティング株式会社社員持株会（個人10名）

## ③ 株式取得する会社の名称、事業内容等（平成26年4月期）

名称	GISコンサルティング株式会社
事業内容	情報処理システムの設計・開発・販売及びそれらのコンサルティング、情報システムの開発支援及び開発請負
資本金	30百万円

## ④ 株式取得の時期

平成27年1月30日

## ⑤ 取得する株式の数、取得価額および取得後の持分比率

取得する株式の数	3,000株
取得価額	217百万円
取得後の持分比率	議決権所有割合：100.0%